

イベント名称	避難者交流会
活動日時	2014年3月8日 13:30~16:00
活動施設名	小金井市福祉会館3階
活動者名	鬼塚チェイス円・井上智子
主催者	小金井、三鷹、調布、府中、狛江社会福祉協議会 共催
担当者	狛江社協 志田五十鈴様
参加者(人数)	東日本大震災避難者(30人くらい)
活動内容	
<p>1. 避難者様と共にイベントへ参加 13:30~15:00 ハーブの演奏、歌や紙芝居のショー、避難者様同士の歓談の時間を後ろの座席で様子を見守るように指示を受け、様子を伺った。</p> <p>2. ヨーガ療法指導(円が担当し、井上がサポート&写真撮影) 15:00-15:15</p> <p>1) ヨーガについての簡単な説明 「簡単な体操で意識を体に向けていきます」</p> <p>2) 体操 立位: アイソメトリック・アンクル・ストレッチ・ブリージング・スロトレ 立位: 肩まわし イス: 膝押し イス: ねじり *呼吸法、瞑想法は中止</p> <p>3. 避難者歓談 15:15-16:00 歓談の様子を見守った。質問があれば、お答えできるようにとスタンバイしていた。タイミングをみて主催者側の方へのご挨拶も行ない、写真集も狛江市社協の志田さんへお渡し、各々の市の担当者へお渡し頂けるよう依頼した。</p> <p style="text-align: right;">以上.</p>	
療法士所感	
<p>マイクを使い正面で行なったにも関わらず、主催者側が用意したハーブ演奏、歌や紙芝居ショー、ヨーガ療法に参加される方がお一人もいらっしゃらなかった。 (ヨーガ療法には狛江職員の方2名、地元の男の子計3名参加)</p> <p>参加を促すなど主催者の方は協力してくれないのかなあ、と感じた時もあったが、今回は初めて開催した避難者交流会であるため誰もが様子(避難者さんのニーズ)を伺いたとゆうのがあったのだと思う。</p> <p>避難者さんはお仲間同士の交流、東京都職員との相談の方に盛り上がっている様子だった。情報交換の場を求めていることを感じた。</p> <p>今後、ヨーガ療法学会としてヨーガ療法を積極的にアピールしたいと考える場合は専用のチラシを用意する必要があると感じた。</p> <p>また、ヨーガ療法を落ち着いて行える時間を作れるよう職員の方に協力して頂けるようお願いすることや、事前にお知らせをしてご興味のある方を対象に行うなどの工夫が必要と感じた。</p>	